

平成 24 年度事業報告書

Ⅰ 法人の概況

- 設立年月日 昭和 61 年 8 月 7 日
- 定款に定める目的

本会は、組込みシステム(組込みソフトウェアを含めた組込みシステム技術をいう。以下同じ。)における応用技術に関する調査研究、標準化の推進、普及及び啓発等を行うことにより、組込みシステム技術の高度化及び効率化を図り、もって我が国の産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。

- 定款に定める事業内容
 - 組込みシステム応用技術に関する品質、生産性、信頼性、セキュリティ等に関する技術開発及び標準化の推進
 - 組込みシステム技術に関する人材育成、地域振興及び国際交流の推進
 - 組込みシステムに係る技術・環境・経営及び貿易・投資に関する調査研究並びに情報の提供
 - 組込みシステム技術などに関する内外関係機関との情報交流及び連携の推進
 - 組込みシステム応用技術の普及啓発
 - 本会の会員に対する福利厚生に関する事業の推進
 - その他本会の目的を達成するために必要な事業
- 日本標準産業分類

G3912 組込みソフトウェア業

- 会員の状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

	当期末	前期末	前期末比増減
正会員	184 社	180 社	4 社
賛助会員	31 社	34 社	△3 社
合計	215 社	214 社	1 社

- 主たる事務所、支部の状況

(主たる事務所)東京都中央区日本橋浜町 1-8-12 東実年金会館 8 階
(支部)

北海道支部 北海道札幌市中央区北 2 条西 3 丁目-1 札幌ビルディング 4 階
東北支部 宮城県仙台市青葉区昭和町 5-23 東社シーテック(株)内
東京支部 東京都中央区日本橋浜町 1-8-12 東実年金会館 8 階
中部支部 愛知県名古屋市西区新道 2-15-1 東海ソフト(株)内
北陸支部 福井県福井市川合鶯塚町 61 字北稻田 10 (社)福井県情報システム工業会内

近畿支部 大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4 (財)大阪科学技術センター内
九州支部 福岡県福岡市早良区百道浜 2-1-22-904 福岡 SRP センタービル

7. 役員に関する事項

別紙のとおり

8. 職員に関する事項

平成 25 年 3 月 31 日現在

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
3 名	△1 名	49.3 歳	11 年

9. 許認可に関する事項

特になし

<別紙>

一般社団法人 組込みシステム技術協会 役員・顧問

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

(役職)	(支部)	(氏名)	(常勤・非常勤)	(会社名等)
会長	東京	築田 稔	非常勤	(株)コア
副会長	東京	長谷川 恵三	非常勤	(株)セントラル情報センター
副会長	東京	塚田 英貴	非常勤	(株)エヌデーデー
副会長	東京	藤木 優	非常勤	(株)ブライセン
副会長	近畿	杉本 浩	非常勤	スキルインフォメーションズ(株)
専務理事	(員外)	門田 浩	常勤	組込みシステム技術協会
理事	北海道	中野 隆司	非常勤	(株)北斗電子
理事	東北	佐々木 賢一	非常勤	トライ・ツーワークス(株)
理事	東京	大橋 憲司	非常勤	(株)エンベックス
理事	中部	水谷 多嘉士	非常勤	東海ソフト(株)
理事	中部	萩原 義昭	非常勤	萩原電気(株)
理事	北陸	進藤 哲次	非常勤	(株)ネスティ
理事	近畿	杉山 久志	非常勤	(株)暁電機製作所
理事	近畿	大石 正則	非常勤	(株)シーケルコーポレーション
理事	九州	西 哲郎	非常勤	西日本コンピュータ(株)
理事	(員外)	鈴木 龍一	常勤	組込みシステム技術協会
理事	東北	本田 光正	非常勤	東杜シーテック(株)
理事	東京	馬場 民準	非常勤	ガ・イ・テクノロジー(株)
理事	東京	月原 優	非常勤	東電ユーフエスト(株)
理事	東京	竹岡 尚三	非常勤	(株)アックス
理事	東京	田中 晃	非常勤	アントールシステムサポート(株)
理事	東京	山田 敏行	非常勤	横河デジタルコンピュータ(株)
理事	東京	秋保 政一	非常勤	アルバイン(株)技術本部
理事	東京	漆原 憲博	非常勤	(株)ジェーエフピー
理事	東京	中村 憲一	非常勤	アップウインドテクノロジー・インコーポレイテッド
理事	東京	廣田 豊	非常勤	TDIプロダクトソリューション(株)
理事	東京	星 光行	非常勤	(株)クナイ
理事	東京	井口 守万	非常勤	東芝システムテクノロジー(株)
理事	東京	清成 友晴	非常勤	キャット(株)
理事	東京	小西 誠治	非常勤	(株)ソーコーポレーション
理事	中部	脇田 周爾	非常勤	(株)ヴィッツ
理事	中部	青木 義彦	非常勤	(株)サンテック
理事	近畿	竹内 嘉一	非常勤	(株)日新システムズ
理事	近畿	松本 浩樹	非常勤	(株)コミュニケーション・テクノロジー
理事	(員外)	飯塚 悅功	非常勤	東京大学
理事	(員外)	片岡 正俊	非常勤	東京都立産業技術研究センター
理事	(員外)	兼本 茂	非常勤	会津大学
理事	(員外)	福田 晃	非常勤	九州大学
監事	近畿	小幡 忠信	非常勤	アルカディアシステムズ(株)
監事	(員外)	宇田川 重雄	非常勤	宇田川公認会計士事務所
名誉顧問		種村 良平	非常勤	(株)コア
顧問		松尾 隆徳	非常勤	東洋電機(株)
技術顧問		崎詰 素之	非常勤	
参与	(員外)	大原 茂之	非常勤	東海大学
参与	(員外)	中島 達夫	非常勤	早稲田大学

理事 : 38 人 (内訳 : 会長 1 人、副会長 4 人、専務理事 1 人、理事 32 人)

監事 : 2 人 顧問 : 3 人 参与 : 2 人

II 総括

平成 24 年度の国内景気は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」で円安・株高が進み、海外経済が回復したのを背景に、持ち直し傾向は鮮明であるが、組込みシステム業界としては未だ改善とは言えない状況が続いている。

このような環境のもと、組込みシステム技術協会は、JAPAN ブランドを支える業界団体として、組込み技術の調査研究、普及啓発及び人材育成、更には JASA ヴィジョンに基づいた新たなビジネス創設イベントやグローバル化への対応と幅広い活動を展開した。

運営本部、国際委員会では恒例となった JASA グローバルフォーラム、国際化推進ワークショップといずれも前年を上回る参加者を得て盛大に開催することができた。一方で協業推進委員会は、地域活性化を目的とした北海道支部、九州支部での協業マッチングと、コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) 様との共同開催にてアライアンスビジネス交流会と活発な活動実績を残すことが出来た。

教育事業本部、ETEC 試験事業では収益構造の改善により大幅な黒字化が実現でき、これまでのクラス 2 の上位試験であるクラス 1 試験の実施に向けた検討を開始した。研修委員会では、学生を中心とした若年層に対し組込み技術の認知度を深めるべく技術セミナーの開催や、就職支援活動を含めた広報活動を展開した。また ET ロボコン実行委員会では、全国 337 チーム、1900 人による 11 地区での予選会からチャンピオンシップ大会と例年にはない盛り上がりを見せた。

技術本部活動では組込み技術の高度化を目指し、それぞれの委員会が活発な調査研究活動を行い、5 月にはオープンセミナーと、恒例となった ET2012 セミナー会場にて成果発表会を実施した。活動成果として特出すべきは、プラットホーム研究会で、ロボットの制御プログラムの実装仕様を標準化するオープンなプラットホーム (OpenEL™) の提案がなされ、これは更に拡大するロボット市場において新たな潮流となる可能性を秘めたものとなっている。

また、昨年より開催した「日本プラグフェスト」は、海外メーカーも含め 26 社、40 製品が参画し、二日間に渡り活気に満ちた相互接続試験の場となった。

当協会の普及啓発事業の柱である組込み総合技術展 ET2012 も、前年同様に LSI 設計製造技術展である EDS フェアと同時開催し、昨年を上回る来場者数を得て、盛況のうちに幕を閉じることが出来た。新 ET アワードも 2 年目を迎え、成長 6 分野を対象に 61 件の応募があるなど、組込みシステム技術の評価ブランドとして定着しつつある。

平成 24 年度重点事業項目

1. 公益目的事業計画に沿った事業推進
2. 単年度黒字厳守による協会財産の維持確保
3. 経理処理の本部・支部一本化による予実管理の制度改善
4. 協業力の強化推進
協業マッチング、アライアンスビジネス交流会の定例化
地方支部への展開
5. 国際化推進
グローバル化推進企画及び海外関連団体との連携強化
6. 組込みソフトウェア技術者試験 (ETEC) の収益確保
7. 組込み技術の調査研究活動の活性化推進
公益事業としての積極的情報発信
8. ET 展示会の拡充
(公益事業を支える収益事業として維持拡大)
9. 関連団体との情報交換及び連携事業推進
10. 組織の拡充

III 会務の概況

1. 総会

社員総会（第 26 回） 平成 24 年 6 月 7 日（木） 品川プリンスホテルにて
以下に示す議案が諮られ、承認可決された。

＜決議事項＞

- 第 1 号議案 平成 23 年度事業報告書（案）承認の件
- 第 2 号議案 平成 23 年度財務諸表（案）及び収支計算書（案）承認の件
- 第 3 号議案 平成 23 年度会員代表者変更に伴う理事交代承認の件
- 第 4 号議案 理事選任の件

＜報告事項＞

- 1. 平成 24 年年度事業計画書
- 2. 平成 24 年度収支予算書（商務財産増減計算書ベース）
- 3. 一般社団法人への移行認可について

2. 理事会

平成 24 年 5 月 17 日から平成 25 年 3 月 21 日にわたり、計 6 回の理事会を開催

➤ 第 165 回理事会

平成 24 年 5 月 17 日（木） 於 東実年金会館 4 階大会議室

議事

- | | | |
|------|----------------------------|--------|
| (1) | 平成 23 年度事業報告書（案） | 【協議】 |
| (2) | 平成 23 年度財務諸表（案）および収支計算書（案） | 【協議】 |
| (3) | 理事選任（案） | 【協議】 |
| (4) | 平成 24 年度事業計画書 | 【報告】 |
| (5) | 平成 24 年度正味財産増減計算書 | 【報告】 |
| (6) | 一般社団法人移行 | 【報告】 |
| (7) | 平成 24 年度委員会・支部事業報告（4 月分） | 【報告】 |
| (8) | 新入会員の承認 | 【審議】 |
| (9) | 後援、協賛等受諾の報告 | 【報告】 |
| (10) | その他 | |
| | ・支部規約改定について | 【趣旨説明】 |
| | ・委員会組織改正について | 【報告】 |

➤ 第 166 回理事会

平成 24 年 6 月 7 日（木） 於 品川プリンスホテル

議事

- | | | |
|-----|--------------|------|
| (1) | 新入会員承認の件 | 【審議】 |
| (2) | 社員総会資料一式のご確認 | 【確認】 |
| (3) | その他 | |

➤ 第 167 回理事会

平成 24 年 9 月 20 日 (木) 於 東実年金会館 4 階大会議室

議事

(1) 各事業本部報告

【報告】

・運営本部 ・教育事業本部 ・技術本部 ・ET 事業本部

(2) 各支部活動報告

【報告】

・北海道 ・東北 ・東京 ・中部 ・北陸 ・近畿 ・九州

(3) 新入会員企業の承認

【審議】

(4) 一般社団法人化による規程類の改定について

【審議】

(5) 員外理事及び監事の報酬について

【審議】

(6) その他

【報告】

・中小企業人材確保推進事業助成金受給資格取得の報告

・後援、協賛等受諾の報告

➤ 第 168 回理事会

平成 24 年 11 月 14 日 (木) 於パシフィコ横浜会議棟

議事

(1) 各事業本部活動報告

【報告】

(2) 各支部活動報告

【報告】

(3) 新入会員企業の承認

【審議】

(4) 平成 24 年度上期収支状況

【報告】

(5) その他

新委員会組織(案)

支部運営ガイドライン(支部規約)

平成 25 年度事業計画及び予算書の作成

後援・協賛等受諾報告

➤ 第 169 回理事会

平成 25 年 1 月 17 日 (木) 於 品川プリンスホテル

議事

1) 事業本部報告 (運営本部、教育事業本部、技術本部、ET 事業本部)

【報告】

2) 支部活動報告 (北海道、東北、東京、中部、北陸、近畿、九州)

【報告】

3) 新入会員の承認

【審議】

①^株システムプランニング (正会員／近畿)

②^株ユビキタス (部門会員／東京)

4) 平成 24 年度予算と事業計画の申請状況について

【報告】

5) その他

【報告】

H25 年度役員改選について

M E T I 瀧澤様より政策に関する説明

➤ 第 170 回理事会

平成 25 年 3 月 21 日 (木) 於 東実年金会館 4 階大会議室

議事

- | | |
|-----------------------------|------|
| (1) 平成 24 年度決算見込み | 【報告】 |
| (2) 平成 25 年度事業計画(案) | 【審議】 |
| (3) 平成 25 年度予算(案) | 【審議】 |
| (4) 平成 25 年度、26 年度役員候補者について | 【報告】 |
| (5) 組織の変更 | 【審議】 |
| (6) 新入会員の承認 | 【審議】 |
| (7) その他 | |
| ➤ 東北支部の会費について | 【報告】 |
| ➤ 理事会開催日程について | 【協議】 |
| ➤ 後援/協賛等受諾行事 | 【報告】 |

3. 会員の変動状況

前年度期末会員数は、正会員 180 社、賛助会員 34 社の合計 214 社であった。期中において、正会員 9 社の入会があったが、退会が正会員 5 社、賛助会員 2 社の入会があったが、退会が 5 社あったため、本年度期末会員数は、正会員社 184 社、賛助会員 31 社の合計 215 社となった。

新入会員

- (株)CSA ホールディング (賛助会員)
- (株)アイ・エル・シー (正会員／東京)
- (株)JVC ケンウッド (正会員／東京)
- (株)シーテック (正会員／東京)
- 佐鳥電気(株) (正会員／東京)
- フィット産業(株) (正会員／東京)
- (株)日立情報制御ソリューションズ (賛助会員)
- エポックサイエンス(株) (正会員／東京)
- (株)クナイ (正会員／東京)
- (株)インフォテック・サーブ (正会員／東京)
- (株)メタテクノ (正会員／東京)

IV 本部活動報告

平成 24 年度事業の推進は下表の本部組織にて行った。

平成 24 年度 JASA 事業本部組織表

本部名	委員会/研究会名	WG 名	公益支出事業
運営本部	総務委員会		
	広報委員会	機関誌発行 WG HP 管理 WG	事業番号 1
	国際委員会		
	協業推進委員会		
教育事業本部	ETEC 企画委員会	問題作成 WG	事業番号 2
	研修委員会		事業番号 2
	ET ロボコン実行委員会		
技術本部	安全性向上委員会		事業番号 4
	技術高度化委員会	OSS ライセンス WG	事業番号 3
		実装品質強化 WG	
		状態遷移設計研究会	
		制御設計研究会	
	応用技術調査委員会	技術セミナー委員会	事業番号 5
		プラットホーム研究会	
ET 事業本部	ハードウェア委員会		事業番号 3
	ET 実行委員会		
	ETWest 実行委員会		

＜参考＞公益支出事業

- 事業番号 1 組込み技術を普及するための海外及び国内調査研究
事業番号 2 組込み技術を担う技術者育成のための能力試験およびセミナーの実施
事業番号 3 開発高度化事業 事業番号 4 安全・安心関連事業
事業番号 5 技術啓発・人材育成事業

人材確保検討プロジェクト

■ 活動概要

人材確保検討プロジェクトは、東京都労働局の「中小企業人材確保推進事業助成金制度」を運用し、人材確保ならびに職場定着の施策を展開する JASA の各委員会を、横断的に支援するプロジェクトである。

JASA はこのプロジェクトを通じて会員企業の雇用状況の改善を目的としており、JASA 各委員会の施策が円滑に運ぶよう事業内容の提案や、雇用状況のアンケート調査・分析を行っている。

H24 年度の活動に対し、東京都労働局より 280 万円の助成金を受けることになった。

V 事業本部活動報告

運営本部

総務委員会

定款(員外役員の報酬支給)と、規程(入会金規程、経理規程)の変更案と、本部規程の制定を提案した。

広報委員会

1. 機関誌発行 WG

協会機関誌「Bulletin JASA」を4回発行した。協会広報誌及び技術情報誌としての情報発信機能を強化し、併せて会員連携の促進と新規会員勧誘の機能を具備した有効なメディアとして記事内容の拡充を図り、会員企業はじめ関連業界や教育機関、また主催イベント等にて広く配布した。

- 6月12日 Vol.42 発行 ET West 2012 特集・会場配布号
ETWest プレビュー及び出展紹介、技術本部成果発表会報告、技術寄稿「今更聞けない組込み入門講座」、第1回プラグフェスト開催報告等
- 9月13日 Vol.43 発行 人材育成・教育 特別企画号
巻頭言「組込み画像処理とオープンイノベーション」、座談会「組込み業界における人材育成とその難しさ」、「ET ロボコンに見るモデリング技術教育とその成果」、「新人社員に求められる組込み技術知識アンケート調査結果」、技術寄稿「組込みマーケットにおける ARM の広がり」等
- 11月14日 Vol.44 発行 ET2012 特集・会場配布号
ET2012 プレビュー及び出展会員紹介、ET・NE 共催セミナー「最新ロボット技術」報告、技術寄稿「組込み用仮想化技術の概要とその必要性」、会員企業訪問、第2回プラグフェスト開催報告等
- 1月17日 Vol.45 発行 新年特別号
「会員企業による2013年の見通しアンケート集計結果」、「ET2012に見る新たな応用分野への期待」、ETセミナー報告「災害用ロボットがもたらす日本の未来とその可能性」、国際化「グローバルフォーラム開催報告」、「高度人材を評価する新試験 ETEC クラス 1」等

2. HP 管理 WG

協会活動の広報を目的として、協会イベント、委員会活動と成果報告、会員情報、機関誌 Bulletin JASA 記事等を掲載し迅速な情報発信を行った。

また、特別企画として、座談会第3弾「組込み業界における人材育成とその難しさ」を企画・実施。座談会の模様を HP に載せるとともに Bulletin JASA のコンテンツとして Vol.43 に掲載した。

国際委員会

1. 国際委員会の定期開催

委員会を隔月に計 6 回開催。

委員会では、主に国際委員会に対するニーズの調査から、グローバルフォーラム・国際化推進ワークショップの企画、実行計画の立案を実施した。

識者を委員会に招き、委員会としての課題を探るため、「委員会スピーチ」を行った。

(1) 第 17 回国際委員会 (4 月 25 日)

「ミャンマーの IT 最新情報について」グローバルイノベーションコンサルティング(株) 代表取締役社長 岩永 智之 氏

(2) 第 18 回国際委員会 (6 月 26 日)

「安徽省アウトソーシング環境のご紹介と組込みシステム技術産業の可能性」

安徽省サービスアウトソーシング協会 副会長 周 師偉 氏、許 広徳 氏、上海事務所 所長 何 延 氏

(3) 第 20 回国際委員会 (10 月 17 日)

「スリランカ・ビジネス事情」(株)メタテクノ 取締役 大和 靖博 氏

(4) 第 21 回国際委員会 (12 月 13 日)

「人材のグローバル化：ビジネスの現場から」

グローバル・エグゼクティブ・コンサルティング 代表 根塚 真太郎 氏

2. 「JASA グローバルフォーラム 2012」の開催

開催日：平成 24 年 11 月 15 日 (木) 12:50～17:00

会場：パシフィコ横浜 会議センター3F [304] 参加者数：125 名

テーマ：必見！アジアのニーズは何か

目的：海外協会との交流促進と、国内企業へのグローバル情報の提供
プログラム

- 「大連にて中国ビジネスの商機」

大連連百易軟件(株) 日本第三事業部 副総裁 蘇 鋒 氏

- 「中国安徽省における組込み産業概況のご紹介」

安徽省サービスアウトソーシング協会

安徽ソフトリーグアウトソーシングサービス有限公司

上海事務所 所長 何 延 氏

- 「鴻海、その原動力と行き先」

台北科技市場研究 代表 大槻 智洋 氏

- 「台湾の ICT 産業のチャレンジと戦略的方針」

台湾 工業技術研究院 情報通信研究所 所長 吳 誠文 氏

- 「インド・アウトソーシング産業の強みを分析する」

(株)エイチシーエル・ジャパン 顧問 永島 晃 氏

3. 第3回「JASA国際化推進ワークショップ」の開催

開催日：平成25年2月22日（金） 14:00～19:00

会場：東実年金会館4階会議室 参加者数：66名

テーマ：グローバルビジネスの展望～グローバル人材の活用と育成～

目的：会員企業及びJASA外部企業の海外進出に関する情報提供

○ 基調講演

「グローバル・ビジネスマンをどう育成するか～ある外資系・元社長からの提言」

グローバル・エクスペリエンス・コンサルティング 代表 根塚 真太郎 氏

○ 事例紹介

《ミャンマーアワー》

・「グローバル人材の育成～日本から見たミャンマー～

～現地進出企業と日本のITバイリンガルエンジニアの事例～」

グローバルイノベーションコンサルティング(株)代表取締役 岩永 智之 氏

・「グローバル人材の育成～ミャンマー人から見た日本～」

グローバルイノベーションコンサルティング(株)

エンタープライズ事業部 マネージャー Kaung Myat Tun 氏

《ベトナムアワー》

・「人材開発と国際化推進～ベトナムITトレーニングの事例～」

国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 特任教授 Duy-Dinh Le 氏

・「外国人技術者の育成とグローバルビジネスの展開」

(株)アストミルコーポ 代表取締役 武田 悠貴彦 氏

《インドアワー》

・「インドにおける技術研修の価値」

(株)ソフトブリッジ グローバルスタイルーズ 常務取締役 吉田 賢一 氏

4. 海外協会への委員派遣

安徽省視察を10/10～13の日程で予定していたが、中国内の反日暴動により中止となり、今年度の海外視察は見送りとした。

5. 広報活動

会員企業及びJASA外部に対する情報提供と広報活動への貢献のため、委員会から情報発信を行った。

○ JASAホームページ「JASA国際だより」

(1)国際委員会活動報告とJASAグローバルフォーラム2012のご案内

(2)「JASAグローバルフォーラム2012」開催報告

(3)「第3回「国際化推進ワークショップ」開催報告

○ 機関誌 Bulletin JASA「JASA国際だより」

(1)「第2回国際化推進ワークショップ」開催報告(vol.42)

(2)「国際委員会活動報告とJASAグローバルフォーラム」のご案内(vol.43)

(3)「第3回JASAグローバルフォーラム2012」開催報告(vol.45)

協業推進委員会

セミナーをメインに開催しながら、地域組込みシステム開発企業を集客し、連携の強化を図った。

1. JASA 交流セミナー北海道

「アンドロイドビジネスセミナーin 札幌」の開催(北海道支部と共に)

日時場所 平成 24 年 7 月 19 日(木) 15:30~18:15 サッポログランドホテル

出席者数 86 名(参加者 65 名、来賓 4 名、JASA 理事 13 名、講演者 4 名)

基調講演 「高機能ナビゲーションの同行とスマートフォン連携」

パネルディスカッション「アンドロイドの次に来るもの」

交流会

想定以上の参加申込みがあり、大盛況であった。アンケート結果を見ても「新技術やトレンド情報」のセミナー開催の要望が強い。

当日は、JASA 幹部会を同日同会場で実施し、JASA 幹部と北海道地域の業界団体や企業との交流が図られた。

2. JASA 交流セミナー博多 M2Mはビジネスチャンスだ！！

日時：平成 25 年 2 月 15 日（金）14：20 ~セミナー 17：30 ~交流会

場所：JR 博多シティ 10 階 参加人数：50 名

プログラム：

セミナー① 「M2M ビジネスの新潮流」

【講演者】佐野勝大氏(株)ユビキタス 取締役営業マーケティング 本部長

セミナー② 「M2M 技術と標準化の動向」

【講演者】北上真二氏(三菱電機ビルテクノサービス株式会社

セミナー③ 「全てが繋がる時代のセキュリティ

～繋がるモノ、繋がってしまうモノ～」

【講演者】中野学氏(IPA 情報セキュリティ技術ラボ主任)

3. CSAJ 合同開催アライアンスビジネス交流会

本年度で 3 回目となる本イベントは、プロダクト・アプリケーション等、販売系企業向けにプレゼンを行うことを目的としており、年 1 回、JASA と合同開催し、JASA 会員企業からもプレゼンを募って開催されている。

本年度は、プレゼン企業 2 社に対して 4 社の申込みがあり、以下の 2 社がプレゼンを行った。

① (株)イーアールアイ

プロダクト「BLUETUS」

O2O ビジネスに Bluetooth 技術を用いることで、容易に低廉なコストで対応できるもの。

② エポックサイエンス(株)

プロダクト「VENUS(ビーナス)」

災害等の停電時に応する、可搬型室内用蓄電システム

教育事業本部

「情報サービス産業の『人材育成』を考える」と題したフォーラム(平成 25 年 5 月)を企画運営する情報産業労働組合連合会より、本フォーラムに先立ち、同機関誌の記事取材を杉本教育事業本部長が受けた。

ETEC 企画委員会

1. ETEC クラス 2

A) 試験運用体制の変更

第 2 四半期より運用委託先を変更し、固定費を大幅に削減し、試験数運動型経費型にシフトした。

また、市場に合わせた柔軟な価格体勢をひくことで、今後の販売促進施策の展開が容易となった。

B) 会員優待

JASA 会員向けの優待受験価格として、通常の受験料の 80%を設定し、7 月より運用を開始し、周知を行った。

一般受験料 15,750 円(税込) ⇒JASA 会員優待受験料 12,600 円(税込)

C) ET West2012・ET2012

JASA ブースにおいて「ETEC クラス 2 体験受験」を開催し、受験を指南する人材管理担当者に、1/10 サイズの受験を体験いただき、ETEC 利用を訴求した。述べ 300 名近くが ETEC クラス 2 の受験を体験した。

D) 試験数

全受験総数：8,314 試験 (2007 年 4 月の正式受験開始以降の総数)

24 年度受験数：1,100 試験 (前年度比 99%)

内訳：会員 591 試験(構成比 54%)、非会員 277 試験(25%)、個人 232 試験(21%)

本年度より、経費を見直し、固定費を徹底的に削減した結果、6 年目にして黒字化を達成した(+4,400 千円)。

2. ETEC クラス 1

平成 25 年度下期に一般受験開始をめざし、準備を進めた。

・人物像：自律的にプロジェクトを統括、遂行できる。

・評価：グレード方式(A~D)

・出題分野：仕様・設計に対する「分析力」「理解・表現力」「知識」等、試験の詳細設計を完了した。

平成 25 年度第 1 四半期から、作問グループを結成し、作問、β 試験(設問の有効性確認のモニター試験)を経て、第 4 四半期までの一般受験を目指す。

研修委員会

1. 調査

例年、全会員を対象に「新卒技術系社員に求めるスキル」等の調査を行い、平成24年度は10月に実施、57%の会員から回答を得た。

本アンケート分析結果は、ET West2012、ET2012等のプレゼン機会に発表し、希望者には報告書として送付している。

2. 啓発活動

A) Bulletin JASA 配布

組込みシステム開発の講座を開設している学校法人等、200校余りに、Bulletin JASA(年4回)、ET West2012、ET2012のご案内を発送した。

発送の際、JASAの教育活動等も同封し、JASAの教育事業をアピールした。

B) プrezentation

ET West2012、ET2012の機会を捉え、会場内で上記「新卒技術系社員に求めるスキル」調査結果を主に学校法人、学生に対して、プレゼンした。

3. 産学連携事業

金沢工業大学ならびに北陸先端科学技術大学院大学が、文部科学省 大学間連携共同教育推進事業「実践力と想像力を持つ高信頼スマート組込みシステム技術者の育成」プログラムを推進するに当たり、当協会(研修委員会)に協力要請があり、平成25年度以降、教育コースのうち、学生向けの評価システムの構築をお手伝いすることとなった。

○ シンポジウムの開催(3月25日)

本プログラムのキックオフイベントを金沢工業大学において開催した。

103名の聴講者に集め、杉本副会長ならびに宮下研修副委員長が、業界並びにJASA業務概要を講演し、北陸方面におけるJASAのプレゼンを高めた。

ET ロボコン実行委員会

1. 参加チーム数

339チームのエントリーがあった(前年度338チーム)。

地区	企業	大学	短大	専門	高専	高校	個人	特別	合計
北海道	7	5	0	0	2	0	2	0	16
東北	8	6	3	3	3	3	0	0	26
北関東	2	7	0	1	2	1	0	0	13
東京	69	15	0	2	0	0	8	0	94
南関東	24	4	0	3	0	2	1	0	34
東海	25	5	0	4	1	3	6	0	44
北陸	5	5	0	0	1	0	2	0	13
関西	14	2	0	2	0	0	9	0	27
中四国	4	3	1	1	6	3	3	0	21
九州	11	14	0	4	4	1	1	1	36
沖縄	0	6	3	2	1	2	0	1	15
合計	169	72	7	22	20	15	32	2	339

※参加のない都道府県は、奈良、徳島、高知県の3県。

2. 地区大会

10月3日すべての地区大会が終了し、チャンピオンシップ出場40チームが決定した。

2012年から地区大会でもIPA賞が授与された。IPA賞は、モデル審査で入賞はできなかったが、モデリングに特筆すべき点があるチームに贈られる。

3. チャンピオンシップ大会

11月14日・15日にET2012の隣接会場にて開催した。走行会場の環境設定（照度）に若干の問題があったものの、無事終えることができた。

4. 全国企画委員会

12月15日・16日に全国11地区の実行委員会責任者が集まり、地区の活動内容を報告し、2013年度の基本方針を発表した。

現在ルールの難所を簡単にした「デベロッパー部門」と自分で難所を決めて走行する「アーキテクト部門」の2部門に分けて行う。運用上、2コース用意することは困難な為、同一コースを活用した方法で行う。

5. 2013の開催記者発表

2月13日に、2013年度の開催記者発表を実施。今年は、IPA/SECの松本所長にご挨拶を頂いた。

2013年度から「デベロッパーズ部門」と「アーキテクト部門」の2部門制で実施ことを発表。デベロッパーズ部門は、従来のコンテスト内容を踏襲であるが難易度を若干低くする。

一方、アーキテクト部門は、まったく新しいルールで開催する部門で、デベロッパーズ部門の上位といった位置づけではない。競技者は、コースの後半の何も書かれていない白いパフォーマンスステージで、参加者自身が自らテーマと課題を与え、その課題をパフォーマンスという形で表現して頂く。そして、そのパフォーマンスに対して、一般見学者の評価を加算して得点を決める。一般見学者の得点が全体評価の50%を占める。

デベロッパーズ部門がスピードスケートに例えると、アーキテクト部門が自由演技のフィギュアスケートに近い。

6. 平成25年度エントリー

3月に行った平成25年度エントリーは、356チーム（うち、アーキテクト部門116チーム）。前年度比5%増となった。そのうち、約1/3がアーキテクト部門にエントリーをしている。

技術本部

技術本部は、組込み関連技術の調査研究と普及啓発活動をするために、各委員会・研究会・WGを推進した。

1) 成果発表会

第3回となり、外部からの参加者が増え、5月16日盛大に実施。9部門より発表。厳正な審査の結果、第1位実装品質強化WG、第2位状態遷移設計研究会、第3位は同点でプラットフォーム研究会及びOSS活用委員会に決定。

2) 技術本部会議

4/18、5/16、8/2、9/19、10/18、12/20、2/14に実施し、各委員会・研究会・WGの活動実績を確認し、理事会に報告した。

3) ET2012

ET2012にて技術本部セミナーを実施し、組込みシステム業界への調査研究成果の普及に努めた。

4) H25年度予算ヒアリング

2013/2/14にH25年度の各委員会・研究会・WGの事業計画と予算のヒアリングを実施した。

安全性向上委員会

■ 活動要旨

安全性向上委員会は、セーフティ、セキュリティの安全性を向上させるための研究を行っている。今年度は、これらセーフティ、セキュリティの要求仕様を高い品質で実現するための調査研究(SSQ)と、情報セキュリティの組織管理の方策としてのCMSiSの調査研究、および関連するセミナーの開催を行った。

活動の詳細な報告書は、別途以下の目次に従い作成しているが、本稿ではその要旨を述べる。

目次

1. SSQの活動	
1. 1. 要求の仕様化に関する調査報告	中村@レターチ
・活動計画と実績	
・成果報告	
・今後の予定	
1. 2. 関連資料～顧客と合意を取るための要求仕様の作成検討～	
1. 2. 1. 振舞いに着目した要求分析	豊@クレスコ
1. 2. 2. 妥当な要求決定プロセス_V5	積田@TST
1. 2. 3. 要求分析は「意図」の「外延化」	漆原@JFP
1. 2. 4. 話題沸騰ポット要求機能	能登@日本フロセス
1. 2. 5. 電気ポット機能仕様書 (某情報制御システム流)	新谷@日本フロセス
1. 2. 6. VDMの陰仕様を用いた要求分析	松本@DTS
1. 3. H24年度合宿開催について	長久保@DTS
2. 情報セキュリティ CMSiS 2012年度活動記録	三輪@ISMSコンサルタント
3. 議事録	金田@都産技
3. 1. 添付資料Ⅱ GAIO 報告 H240720 第4回議事補足	六反田@ガイオ

SSQ とはセーフティ、セキュリティ、品質の略語である。安全性向上委員会は、今まで機能安全（セーフティ）と情報セキュリティの調査研究を行ってきたが、機能安全にしろ、情報セキュリティにしろ、それを要求仕様としてソフト的に実現するためには、ソフトウェアの品質を向上させる必要がある。そこで、本委員会では、品質を向上させるための方法として、どのような手法があるかの研究を行った。加えて、要求仕様の例を作り（「電気ポット」）、その要求仕様を様々な手法で実際にひもとき、その長短を比較した。

用いられた手法は、形式手法であるVDM（VDM-SL、VDM++）、SysML、SLP（国内発、要求仕様記述ツール）や、従来の自然言語で記述する手法である。

また、要求仕様は、機能安全に関する要求仕様や、情報セキュリティに関する要求仕様に関わらず、一般に仕様が曖昧である等の問題がある。従って、要求仕様を厳密にしなければならないということから、形式手法を用いるべきという考え方がある。

しかし、要求仕様は厳密に記述することは物理的にも経済的にも難しいということから、“意図”が分かる要求仕様にすべきであるという考え方もある。VDM等の手法がこのような要望とどう調整すべきか、なお研究の余地がある。

これらの調査研究は、年10回行われた。これらの些細は議事録に記載されている。また9月には合宿も行われ、当日と翌朝に渡り真剣な議論が行われた。

各手法を活用した事例の発表は報告書の1・2章に記載されている。

CMSiS は、Compact Management System information Security の略であり、ISO 27001を踏まえた中小企業向けの情報セキュリティの管理システムである。前年度 CMSiS の制度設計は完了し、本年度はその実用的な適用を行った。実際に1社に適用した。

報告書は当委員会固有のホームページに搭載する予定である。

技術高度化委員会

OSS 活用ワーキンググループ

■ 活動概要

OSS 仮想化 WG のみが活動したので、その WG の活動について報告する。

日本の組み込み仮想化市場が形成されるように、議論と活動を行っている。

技術的な標準を考える前に、用語の標準化と、仮想化技術を正しく知らせる資料作りが重要であるとの結論に基づき活動中である。

24年度は、引き続き、仮想化技術の定量的評価の指標作りを行っている。現在は、実時間を中心とした実使用状態を想定した性能評価基準について議論している。

また、新たに、仮想化技術をどういう応用システムで採用すれば効果的かを、採用者にわかりやすく示すことができる、ユースケースを収集しまとめの作業を行っている。これまでの活動の成果も引き続き更新している。

なお、仮想化技術を提供している各社を招いて紹介をいただくこともこれまで通り行った。

メンバーで協力し、各社の仮想化技術を、一元的に比較できる比較表を更新し、比較項目についても、適宜議論を行っている。

■ 活動詳細

1) 2012/4/17 第1回会議

H23 年度に引き続き議論をした。H24 年度に行うべきことについて議論した。

2) 2012/6/29 第2回会議

- ・仮想化の問題になりそうな事柄を自由に意見交換
 - ・仮想化に何を求めるか由に意見交換
 - ・ベンチマーク項目について議論
 - ・ユースケースについて、多面的に議論
 - ・割込みについて少し議論
- 3) 2012/7/27 第3回会議
- ・性能評価で何を測りたいかを議論
 - ・性能評価で行う対象として、そのシナリオを何通りか作ることを決めた
 - ・代表的ユースケースと計測したいシナリオが同じであることを確認
- 4) 2012/8/27 第4回会議
- ・メンバー各社から具体的なシナリオを提出してもらった
 - ・その結果について議論。ベンチマークの採り方などについて議論。
 - ・今年度のベンチマークの採り方(シナリオ)と、採りたい項目が固まってきた。
- 5) 2012/9/28 第5回会議
- ・今年度のベンチマークの採り方(シナリオ)を議論し、固まってきた。
- 6) 2012/11/02 第6回会議
- ・今年度のベンチマークの採り方(シナリオ)を議論し、固まってきた。
 - ・引き続き、具体的な方法について議論
- 7) 2012/11/14
- ・ET会場にて、本年度の中間成果報告
- 8) 2012/12/18 第7回会議
- ・筑波大を中心に開発された国産ハイパーバイザ「bitVisor」について、開発者の品川先生(東京大学)から、仔細に説明を頂いた。
高セキュリティを主眼にしており、防衛関係でも使用されている。
ゲストOSとしてWindowsを動かしており、興味深い。
 - ・その後、年末の懇親会
- 活動成果
- JASA版 組込み仮想化技術用ベンチマーク一式
 - ベンチマーク結果
 - 各仮想化技術製品の比較表(2012年版)
 - ユースケース集(第1次ドラフト)
- 2012年度、仮想化WGメンバー
- デンソー、パナソニック、ヤマハ、NDD、ルネサスエレクトロニクス、富士通研究所、レッドベンド、アクセス、リンクス(JASAの会員外も多い)

■ 活動概要

本WGは、組込みソフトウェアの実装品質を強化するため、現状課題を整理し、実装品質の強化に向けた施策ガイドラインを提供することを目的に2010年度から活動を開始した。

WGの活動は、SWG1にて推進を行っている「実装品質実態調査アンケート」に関しては、昨年度までに実施したアンケート結果の分析を開始し、JASA会員企業における実装品質強化のためのツール利用状況、品質6特性への取り組み状況の分析を実施するとともに、非機能要件の品質向上に向けた取り組み方法の検討を2つのWGに分けて実施した。

今年度は2つのWG活動を継続することで、基本作業をほぼ終わらせ2012年度のガイドライン策定へつなげることをターゲットとした。WG1では機能要件向けツールの整理と、各規格への対応ガイドラインを策定のための整理を行う。今年度は特にESPRに準拠した開発プロセスに沿ったアンケート構成とし回答数の改善を図ることとした。WG2では非機能要件明確化と対応の検討を進めるため、市場において成功している組込みシステム製品について川下ユーザの開発動向を調査することとした。

■ 活動詳細

本年度は合計7回の委員会、1回の特別講演、2回のアドホック会議、実装品質実態調査アンケート、及び2回の企業へのインタビュー調査を実施した。

特別講演はIPA SECが過去実施した「非機能要求とアーキテクチャWG」における活動経緯や知見を本委員会の活動に取り込むことを目的とし、ET展併設セミナーは本研究会の活動内容を関心のある企業等に広く伝え、フィードバックを得ることが目的である。

また、実装品質実態調査アンケートは、昨年度に引き続き実装品質強化におけるツール利用状況・品質特性認識状況と、その年単位の変化を把握することで、ガイドラインを検討するための方向性を探ることが主な目的である。

企業へのインタビューでは組込みシステム開発において競争力を持つ非機能を開発する日本人技術者や組織の共通項を明らかにすることが目的である。

2011/4/19 第1回委員会：委員会の目標設定、WG1/WG2の運営方法確認

2011/6/7 第2回委員会：ガイドライン作成方針を検討

2011/5/25 WG1分科会：アンケート実施項目を検討

2011/7/12 第3回委員会：アンケート配布先、分析方針を検討

2011/8/4 アドホック：非機能要件検討方法の進め方について検討

2011/9/22 アドホック：非機能要件インタビュー実施方法を検討

2011/10/11 第5回委員会：インタビュー結果のまとめ

2011/10/18 第1回 企業インタビュー調査（アルパイン様）

2011/12/7 第6回委員会：インタビュー結果の分析 & 特別講演

2011/12/13 第2回 企業インタビュー調査（ヤマハ様）

2012/2/10 第7回委員会：今年度の活動結果のまとめ

特別講演（日本IBM 山本久好氏）

「非機能要求とアーキテクチャWG活動の経緯」エンタープライズ系領域の活動して実施された活動の詳細な経緯や具体的な検討内容について、IPA SECの情報開示の承諾を得た上で、山本氏に講演いただいた。

SECでの検討結果や活動成果を、本委員会でのガイドラインに取り込むべく、検討を継続していく。

2011/11/16 ET 成果報告会：当日出席者 80 名（インタビュー回答者 71 名）

■ 活動成果

- ・「実装品質実体調査アンケート」

技術高度化委員会

状態遷移設計研究会

■ 活動概要

1. 「状態遷移表設計におけるS P L E 実践ガイド」の策定、公開
状態遷移表設計の普及・啓蒙活動にあたり、系列製品開発の体系だった開発手法（ソフトウェアプロダクトライン開発）と融合させたプロセスを定義することで、再利用しやすい状態遷移モデルを構築し、品質・生産性の向上に貢献する。
2. 設計手法、ツールの普及度調査アンケートの実施、公開

■ 活動詳細

1) 会議 全 11 回開催、内有識者レビュー 2 回実施

4月 11 日 第 1 回会議	S P L E 実践ガイドの目次、執筆担当割り当て検討 設計手法普及調査アンケート集計結果 w e b 掲載
6月 13 日 第 2 回会議	S P L E 実践ガイド執筆&レビュー
7月 11 日 第 3 回会議	S P L E 実践ガイドレビュー&校正
8月 8 日 第 4 回会議	S P L E 実践ガイド校正、ver0.9 版 U P
9月 12 日 第 5 回会議	有識者レビューの実施（九州大、中西先生）
10月 10 日 第 6 回会議	前回レビュー結果の反映
11月 7 日 第 7 回会議	ET2012 準備（本部会議セミナー、アンケート収集）
12月 12 日 第 8 回会議	S P L E 実践ガイド ver0.94 版 U P
1月 23 日 第 9 回会議	有識者レビュー 2 回目の実施（九州大、中西先生）
2月 13 日 第 10 回会議	S P L E 実践ガイド ver0.98 版 U P
3月 13 日 第 11 回会議	設計手法普及調査アンケート集計結果 w e b 掲載 S P L E 実践ガイド最終レビュー、ver1.0 版 U P
	3月 22 日、Web 掲載

2) セミナー報告

- ① 11月 24 日 ET2012 技術本部セミナーにて、S P L E 実践ガイド発表
- ② 3月 25 日 モデルベース設計・検証研究会セミナーにて、
「状態遷移表設計におけるS P L E 実践ガイド」紹介

■ 活動成果

「状態遷移表設計におけるS P L E 実践ガイド」の策定というテーマは、2010 年度から 3 年計画で取り組んできたものである。

2012 年度はその集大成として、本実践ガイドの執筆と公開を目標とした。
九州大、中西先生のレビュー・監修により、3 月 22 日に予定通り ver1.0 版を U P し
W e b 公開した。

技術高度化委員会

モデルベース開発・検証研究会

■ 活動概要

近年、海外との競争を生き残るために、組込みソフトウェアの設計／検証技術が我が国の緊急の課題となっている。上記を背景にして、モデルベース開発および検証技術を企業に普及させることを目的とする。今年度は、普及戦略の検討およびセミナーを開催した。

■ 活動詳細

1) 会議

- 8月9日（木）第1回会議：今年度の活動方針の検討
- 10月9日（木）第2回会議：モデル検査技術についての検討
- 12月25日（火）第3回会議：モデルベース開発技術についての検討
- 1月8日（火）第4回会議：セミナー開催について、企画
- 1月22日（火）第5回会議：セミナー開催について
- 2月12日（火）第6回会議：セミナー開催について
- 3月25日（月）第7回会議：来年度の活動計画について

2) セミナー開催

- 日時：平成25年3月25日（月）13:00～17:45
- 場所：JR博多シティ9F 第2会議室
- 出席者数：45名（19社）
- 主催：JASA モデルベース開発・検証研究会
- 共催：JASA 九州支部、ES-Kyushu 九州モデル駆動開発・検証推進部会、九州組込みソフトウェアコンソーシアム（QUEST）、九州大学システムLSI研究センター
- 当日のプログラム
 - ・挨拶と活動報告：九州大学 教授・JASA 理事 福田 晃
 - ・「SysMLとモデルベース開発の動向」：慶應義塾大学大学院 教授 西村 秀和 氏
 - ・「SysMLを用いた事例紹介」：（株）コギトマキナ 代表取締役 鈴木 尚志 氏
 - ・「リスク対応とSysML設計トレーサビリティ」：ベリサーブ（株）中野 昇 氏
 - ・「トレーサビリティ可視化とSPLE」：キャツツ（株）竹田 彰彦 氏
 - ・「ES-Kyushu 九州モデル駆動開発・検証推進部会について」：九州大学 准教授 久住 憲嗣
 - ・「閉会挨拶」：JASA 専務理事 門田 浩

応用技術調査委員会

技術セミナーワーキンググループ

■ 活動概要

2012年度を通じて3回のJASA/ETセミナーを運営
他に地方開催セミナーを2回開催

■ 活動詳細

1) 会議

- セミナー運営、企画、検討会議を年9回開催した。
2012/4/25、6/5、7/10、9/5、10/3、11/20、2013/1/18、2/13、3/18

2) JASA/ET セミナーの開催

①第 30 回 2012/7/18

「組込みシステムの情報セキュリティ技術

～不知の情報漏えいと Stuxnet に代表される悪意の攻撃にどう対処したらよいのか、限られたリソースの中で解を探す～」

講師：IPA 萱島 信氏

放送大学 遠藤 直樹氏

ISMS コンサルタント 三輪 一義氏

受講数：19 名

②日経 BP 共催セミナー 2012/9/13

「トヨタ/デンソーの最新ロボット技術～ニッポンの次の基幹産業はこれだ！～」

講師：首都大学東京 システムデザイン学部 准教授 武居 直行 氏

トヨタ自動車 組立生技部 技術管理室 組立技術開発 Gr 主幹 藤原 弘俊 氏

デンソーウェーブ FA 技術サポートセンター 副センター長 米山 宗俊 氏

トヨタ自動車 理事 パートナーロボット部 高木 宗谷 氏

JASA プラットフォーム研究会 中村 憲一氏

受講者数：55 名

③第 31 回 「災害用ロボットがもたらす日本の未来とその可能性」

講師：京都大学 工学研究科 教授 松野 文俊氏

千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 副所長 小柳 栄次 氏

受講者数：35 名

3) 地方開催セミナー

B to B ソリューションフェア東北（2012/11/9）にて基調講演

○基調講演 1

「東北における農業への IT 融合の試み～東北スマートアグリカルチャー研究会の紹介～」

講師：

東北大学大学院工学研究科情報知能システム研究センター 特任教授 菊池 務氏

出席者：68 名

○基調講演 2

「M2M から想像される新しい ICT 社会」

講師：新世代 M2M コンソーシアム 理事 鉄川 貴志氏

出席者：47 名

応用技術調査委員会

プラットホーム研究会

■ 活動概要

本年度も昨年度に引き続き、次世代の共通基盤となる技術や考え方を探究し、具体的にロボットのプラットホーム(PF)について深堀を行うとともに、成果を一般に公開することを目的として活動を行った。具体的には、昨年度に公表した OpenEL 0.1.1 についてさらなる調査・研究を進め、OpenEL 1.0 の仕様を策定した。また、OpenEL を国際標準とするために米国を拠点とする世界的な標準化団体である OMG (Object Management Group) の技術会議に参加し、世界各国に向けて OpenEL の紹介および標準化の提案を行った。

■ 活動詳細

1) 会議

- 5月 24 日 第1回会議 仕様策定、勉強会（講師：キャッツ：穴田啓樹氏）他
6月 21 日 第2回会議 仕様策定、ロボット技術に関する調査項目の洗い出し他
7月 26 日 第3回会議 仕様策定、勉強会（講師：コア：堀部幸祐氏）他
8月 30 日 第4回会議 仕様策定、ロボット技術に関する調査研究報告他
9月 27 日 第5回会議 仕様策定、JASA/ETセミナーのアンケート結果の分析他
10月 25 日 第6回会議 仕様策定、勉強会（講師：都立産技研：金田光範氏）他
11月 22 日 第7回会議 仕様策定、ET 2012 のセミナー等の結果報告他
12月 20 日 第8回会議 仕様策定、OMG技術会議の報告、平成25年度事業計画及び予算の検討他
1月 24 日 第9回会議 仕様策定、勉強会（講師：フィットデザインシステム：辻氏）他
2月 21 日 第10回会議 仕様策定、「OpenEL 試作機 ステッピングドライバー」のデモ（オリエンタルモーター：板橋正也氏）他
3月 28 日 第11回会議 仕様策定、OMG技術会議の報告、調査研究報告他
- 2) 合宿の開催（4月 26 日～27 日）
① 平成23年度活動のまとめ
② 平成24年度事業計画の詳細検討
③ 勉強会（RT ミドルウェア、ROS、制御系装置におけるソフトウェア開発等）
- 3) セミナー委員会と共同でセミナーの開催
9月 13 日 JASA/ET・日経エレクトロニクスセミナー
「トヨタ/デンソーの最新ロボット技術 ニッポンの次の基幹産業はこれだ！」
12月 11 日 第31回 JASA/ETセミナー（ハードウェア研究会と共催）
「災害用ロボットがもたらす日本の未来とその可能性」
- 4) OpenEL の普及・啓発
5月 16 日 JASA 技術本部成果発表会で発表
6月 15 日 ET West で講演
8月 25 日 CQ 出版「インターフェース」2012年10月号に執筆
9月 8 日 ルネサスエンジニアフォーラム 2012 で講演
9月 13 日 JASA/ET・日経エレクトロニクスセミナーで講演
10月 5 日 CEATEC 2012 で講演
10月 15 日 日経エレクトロニクス 10月 15 日号に掲載
11月 14 日 ET 2012 の JASA 技術本部セミナーで講演
11月 16 日 ET 2012 のロボットトラックで講演
- 5) OpenEL の国際標準化
12月 11 日 OMG Robotics Information Day で発表とデモを実施
3月 19 日 OMG Robotics DTF で発表と HAL WG の設立を提案、決議
- 6) 知的財産権の確保
① OpenEL のロゴマークの作成
② OpenEL の標準文字を第 9, 41, 42 類で商標登録（3月 15 日）
- 7) OpenEL ホームページの開設
<http://www.JASA.or.jp/openel/>

■ 活動概要

前々年度の「組込みシステム」に関する経営的側面の調査検討に続いて、前年度は技術的側面からの調査を開始した。本年度も、委員会内外の有識者による講演や企業視察等の活動を踏まえて継続して調査を行った。また、外部団体(JPCA、学校等)との交流や前年度に開設したプラグフェスト(インターフェース規格を持つ応用製品メーカー同士が自主的に自家製品と他社製品の相互運用性を実機検証する技術イベント)の担当窓口及び運営支援活動を通して、内外にJASA及びハードウェア研究会の活動成果を広めた。

本年度は、以下の5つのテーマについて調査した。

WG1) 組込みシステムの時代による変化

WG2) 組込みシステム構成におけるハードウェアの位置付けの変化

WG3) 組込みシステム技術者に重要さを増す従来ハードウェア・スキルとは

WG4) 組込みシステム技術者に求められる新しいハードウェア・スキルとは

WG5) ポスト組込みシステムとは何か

“これからの組込みシステム開発に求められるハード技術とは何か”を考える。

■ 活動詳細

1) 会議

平成 24 年	4 月 11 日	第 1 回会議	テーマ内容の検討
	5 月 9 日	第 2 回会議	各WG状況報告、JPCA出展について
	6 月 6 日	第 3 回会議	各WG状況報告とテーマ内容の再検討
	7 月 12 日	第 4 回会議	各WG進捗報告
	9 月 12 日	第 5 回会議	WG再編の検討
	10 月 17 日	第 6 回会議	各WG目次を発表
	11 月 24 日	第 7 回会議	各WG進捗報告
	12 月 11 日	第 8 回会議	各WG プチプレゼンテーション開催
平成 25 年	2 月 13 日	第 9 回会議	各WG進捗報告
	3 月 13 日	第 10 回会議	各WG発表と次テーマの検討開始

2) 講演会の開催

① 11月14日「最新実装」セミコンサルト代表 上田弘孝様

② 12月11日「被災地で活躍したロボット」千葉工業大学 小柳栄次様

3) JPCA (社団法人日本電子回路工業会) 2012 Show 出展

平成 24 年 6 月 13 日～15 日 JASA の宣伝

4) 「絵で見る組み込み入門」原稿執筆 参加

章「ハードウェア」について原稿内容の更新作業

5) プラグフェスト開催

平成 24 年 9 月 25 日～26 日 東京都立産業技術研究センター

ET 事業本部

JASA 主催のイベント事業として、ET2012 並びに ET West2012 を開催した。

ET2012 では、最新の組込み技術とソリューションを多くの技術者・関係者に対し情報発信するとともに、産学官・関連機関との連携、海外展開と関連市場の活性化を図った。

また、ET West では、エネルギー関連の展示会「Smart Energy Japan in Osaka」と同時開催し 5,500 名を上回る来場者が参加、関連技術の普及高度化と地域振興を促進することができた。

1. Embedded Technology 2012／組込み総合技術展の開催

世界最大級の組込み専門技術展として、昨年に引き続き、EDS Fair との同時開催により、ハードウェア設計からシステム・ソフトウェア開発技術までを集約した展示会として開催した。

今年度の展示会コンセプトとして、今後の成長が期待される新たな産業分野を取り上げ、「スマートエネルギー」「オートモティブ」「ロボティクス」「スマートアグリ」「スマートヘルスケア」「モバイル／クラウド」の 6 つのターゲットアプリケーションテーマにより展示・カンファレンスを企画・構成した。

併せて、今回より新たなカンファレンス企画として、「スマートアグリセッション」「M2M トラック」「ロボットセッション」を新設、各分野の最新情報・技術動向等を発信した。

また、昨年一新された新 ET Award も、今年度は各産業分野に対するソリューションと技術を対象に選考し、受賞 5 製品を選出した。

＜開催要綱＞

会 期	2012 年 11 月 14 日（水）～16 日（金）
会 場	パシフィコ横浜 展示ホール及び会議センター
主 催	一般社団法人組込みシステム技術協会
企画推進	ICS コンベンションデザイン
後 援	横浜市、情報処理推進機構、アメリカ合衆国大使館商務部、 英國大使館貿易・対英投資部、ベルギー大使館
協 賛	日本貿易振興機構、科学技術振興機構、日本情報経済社会推進協会 情報サービス産業協会、電子情報技術産業協会、日本電子回路工業 日本半導体ベンチャー協会、組込みスキルマネージメント協会 IT 検証産業協会、スマートシステム検証技術協会 東京都立産業技術研究センター、台北市コンピュータ協会 情報処理学会
特別協力	EMS-JP グループ、組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会 T-Engine フォーラム、TOPPERS プロジェクト、日本 Android の会 日本電子機器輸入協会、日本半導体商社協会、人間中心設計推進機構 派生開発推進協議会、半導体理工学研究センター
併催行事	ET ロボコンチャンピオンシップ大会
同時開催	Electronic Design and Solution Fair (EDSF)

展示規模 出展社数：407 社・団体
来場者数 22,813 名（同時開催展合計：28,419 名）
カンファレンス プログラム数：147 セッション 受講者数：12,554 名

2. (2) ET West 2012／組込み総合技術展関西の開催

関西唯一の組込み専門技術展＆カンファレンスとして開催した。

近畿支部が中核となり、経産局、関連機関等との連携により、関西地域の特色を生かした展示会とカンファレンスを企画・運営し、広く西日本における関連産業の発展に寄与した。

また、本年度より「Smart Energy Japan in Osaka (SEJ)」との同時開催により、新エネルギー、スマートグリッド等分野を捉えた展示とカンファレンスを構成、展開し、過去最高となる5,551名の来場を得ることができた。

＜開催要綱＞

会 期 2012年6月14日（木）、15日（金）
会 場 インテックス大阪 5号館及び国際会議場
主 催 一般社団法人組込みシステム技術協会
企画推進 ICS コンベンションデザイン
後 援 近畿経済産業局、大阪府、大阪市、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県
和歌山県、情報処理推進機構
協 賛 関西経済連合会、組込みシステム産業振興機構、大阪商工会議所
関西情報センター、近畿情報システム産業協議会
大阪科学技術センター、大阪市都市型産業振興センター
電子情報技術産業協会関西支部、大阪産業振興機構
同時開催 Smart Energy Japan in Osaka 2012
展示規模 出展社数：135 社・団体 160 小間
来場者数 5,551 名（同時開催展含む）
カンファレンス プログラム数：55 セッション 受講者数：4,137 名

VI 支部活動報告

北海道支部

1. 会員動向

	正会員	支部会員	賛助会員	計
23年3月	2	1	0	3
24年3月	2	1	0	3

2. 活動状況

本部協業推進委員会主導にて、7月19日に「アンドロイドビジネスセミナー」を札幌にて開催した。

来賓挨拶を北海道経済産業局地域経済部長より頂戴し、セミナー参加者84名、引続いての懇親会には55名の参加があり、JASAの知名度アップにも大いに貢献できたイベントであった。

東北支部

1. 事業概要

東北支部としては、地域の組込み産業の活性化を目指して、昨年に引き続き他地域との交流や情報交換を活発化すること、ET展などを活用して地元企業の強みを情報発信することなどを積極的に行い、今後の東北支部の事業活動発展の基礎を築いたといえる。

また、支部独自・単独の事業としては、受講者を広く公募する形で技術セミナーを積極的に進め、大きな成果があった。

2. 会員の異動状況

期首支部会員数は、正会員13、准会員3社の合計16社、期中において正会員3社の退会があった。期末合計は、正会員10社、准会員3社の合計13社となった。

	正会員	准会員	賛助会員	計
24年・4月	13	3	0	16
25年・3月	10	3	0	13

期中において2社の正会員申し込みを頂き、現在理事会承認待ちとなっている。

3. 事業実績

- 平成 24 年度東北支部会議
 - 日時 平成 24 年 5 月 18 日(金) 15:00~17:00
 - 場所 ハーネル仙台 5 階「いちょう」
 - 参加 常議員 10 名、会員企業 2 名、
東北経済産業局 室長 佐久間様、JASA 専務理事 門田様、事務局
 - 内容 1. 平成 23 年度事業報告案、収支決算案の報告、審議
2. 平成 24 年度事業計画案、収支予算案の協議
 - ・講演「JASA 委員会、ワーキンググループ活動について」門田様より
 - ・本年度セミナー事業で取り上げたいテーマ、講師について協議
- 第 7 回常議員会
 - 日時 平成 24 年 10 月 2 日(火) 13:00~14:30
 - 場所 (盛岡)マリオス 18 階「186 会議室」
 - 参加 常議員 8 名、JASA 門田専務理事、事務局
 - 内容 1. 平成 24 年度事業報告案、収支決算案の報告、審議
2. 平成 25 年度事業計画案、収支予算案の策定について協議
- 第 3 回講演会
 - 日時 平成 24 年 10 月 2 日(火) 15:00~17:00
 - 場所 (盛岡)マリオス 18 階「186 会議室」
 - 共催 電子情報通信学会(IEICE) 東北支部
 - 参加 31 名
 - 講演 「地域を拓く产学連携：東北大大学次世代移動体システム研究会」
東北大大学 未来科学技術共同研究センター
副センター長 教授 長谷川史彦氏
「ITS センシングによる交通流解析」
東北大大学 大学院情報科学研究科 教授 桑原雅夫氏
- BtoB ソリューションフェア東北 2012 JASA 基調講演
 - 日時 平成 24 年 11 月 9 日(金) 10:00~12:30
 - 場所 (仙台)アエル 6 階セミナールーム
 - 主催 一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会(MISA)
日本情報振興協同組合(JIA) 東北支部
 - 参加 講演 1 68 名、講演 2 45 名
 - 講演 1 「東北における農業への IT 融合の試み」
～東北スマートアグリカルチャー研究会のご紹介～
東北大大学 大学院工学研究科 情報知能システム研究センター
特任教授 菊池 務氏
 - 2 「M2M から創造される新しい ICT 社会」
新世代 M2M コンソーシアム 理事 鉄川 貴志氏
- 組込み総合技術展(ET)2012
 - 日時 平成 24 年 11 月 14 日(水)~16 日(金) 10:00~17:00
 - 場所 パシフィコ横浜
 - 来場者数(TOHOKU パビリオン) 計 5,851 名(参考: 前年度 5,019 名)
14 日(水)1,419 名、15(木)日 2,459 名、16 日(金) 1,973 名
 - 出展会員企業 (株)イーアールアイ、(株)SJC、(有)エボテック、
東杜シーテック(株)、トライポッドワークス(株)、
(株)ルネサス北日本セミコンダクタ、JASA 東北支部(パネル展示)

○ 第1回支部会議

日時 平成24年11月26日(月) 11:00~14:00
場所 (仙台)PARM-CITY131 貸会議室5F「5A」
参加 正会員企業様から11名、准会員企業様から1名、事務局
内容 1. 平成25年度 予算と年会費について報告、審議
2. 平成25年度事業計画案、収支予算案の協議

○ 第2回支部会議

日時 平成25年1月25日(金) 13:00~14:30
場所 (山形)ヤマコーカホール 7階「小会議室」
参加 正会員企業様から10名、准会員企業様から3名、事務局
内容 1. 平成24年度事業報告案、収支決算案の報告、審議
2. 平成25年度事業予算案の協議

○ 第4回講演会

日時 平成25年1月25日(金) 15:00~17:00
場所 (山形)ヤマコーカホール 7階「小ホール」
参加 33名
講演 1 「「イノベ」で守⇒攻⇒勝」
山形大学 有機エレクトロニクス研究センター
副センター長 教授 松田修氏
2 「スマートコミュニティと地域ビジネス」
オムロン株式会社 環境事業推進本部 FES
EAビジネスプランナー 村上英明氏

○ ESxR体験セミナー

日時 平成25年3月11日(月)~3月12日(火) 13:30~17:00
場所 (仙台)東北経済産業局 6階「第一・第二会議室」
共催 独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
技術本部 ソフトウェア・エンジニアリング・センター(SEC)
参加 14名 (1日目:12名、2日目:12名)
講演 1日目 a. ESxRシリーズ概要説明
b. 「設計ガイド(ESDR)[事例編]」解説
2日目 c. 「品質向上のため[テスト編~事例編]」解説
d. 「品質向上のため[バグ管理手法編]」解説

○ 第3回支部会議

日時 平成25年3月15日(金) 15:00~17:00
場所 (仙台)商工会議所 7階「第2中会議室」
参加 正会員10名、准会員1名、JASA事務局長 鈴木様、事務局
内容 1. 平成24年度事業報告案、収支決算案の報告、審議
2. 平成25年度事業予算案の協議

4. その他

(1) 会員企業 参加

➢ 「PBLによる組込みシステム技術者の育成」国内シンポジウム
日時 平成24年7月30日(月) 13:30~17:20
場所 仙台ガーデンパレス
実施校 仙台高等専門学校
参加 (株)SJC(過去修了生としてより講演)、事務局

- 内容
- ・基調講演
「MOT 人材の育成とこれからの技術者に求められること
－日本の産業競争力を高めるために－」
立命館大学 教授 阿部 悠 氏
 - ・実施状況および成果報告
 - ・過去修了生による講演
- 出張組込み開発企業展示会
- 日時 平成 24 年 8 月 31 日(金) 10:00~16:00
場所 ダイキン工業株式会社 滋賀製作所
主催 組込みシステム産業振興機構
参加 (株)イーアールアイ、東杜シーテック(株)
- 組込み総合技術展(ET)2012
「TOHOKU ものづくりコリドー」パビリオン出展社合同会議
- 日時 平成 24 年 9 月 13 日(木) 14:30~17:30
場所 仙台合同庁舎 6 階 東北経済産業局 第 1・2 会議室
参加 (株)イーアールアイ、(有)エボテック、
トライポッドワークス(株)、東杜シーテック(株)、
(株)SJC、(株)ルネサス北日本セミコンダクタ、事務局
内容
- ・ET2012 概要、出展留意事項について
 - ・TOHOKU パビリオン出展事業概要、造形について
 - ・効果的な出展方法について
 - ・出展各社から「出展内容、および PR」
 - ・ET2012 出展企業から
「出展時の良かった点、反省・改善点について」
- ET ロボコン 2012 東北地区大会
- 日時 平成 24 年 9 月 22 日(土) 8:30~19:00
場所 いわて県民情報交流センター (アイーナ)
参加 (株)イーアールアイ、東杜シーテック(株)、
(株)ビツツ東北事業所、事務局
- IPA 事業に関するヒアリング
- 日時 平成 24 年 11 月 28 日(水) 13:00~15:00
場所 トライポッドワークス株式会社
参加 (株)SJC、東杜シーテック(株)、トライポッドワークス(株)、
(株)ビツツ東北事業所、事務局
内容 IPA 事業について意見交換
- 「高度 IT セミナー・ビジネスマッチング in 山形」
- 日時 平成 25 年 2 月 19 日(火) 13:00~19:00
場所 ホテルメトロポリタン山形
主催 TOHOKU 高度 IT フォーラム、とうほく組込み産業クラスタ、
株式会社インテリジェント・コスモス研究機構、山形県、
山形県産業技術振興機構、JASA 東北支部
参加 (株)ルネサス北日本セミコンダクタ、東杜シーテック(株)、
タムス・ファームウェア(株)、(株)YCC 情報システム、事務局
内容 講演 1 「名古屋地区のビジネスについて」
～車載半導体ビジネスに携わって～

- 萩原電機株式会社 顧問 佐藤博昭氏
 講演 2 「関西地区における組込産業の取組み」
 組込みシステム産業振興機構 事務局長 吉村和己氏
 ・ビジネスマッチング(個人面談)
 ・企業展示コーナー 参加：(株)ルネサス北日本セミコンダクタ
- 「高度 IT セミナー・ビジネスマッチング in 盛岡」
 日時 平成 25 年 2 月 20 日(水) 13:00~19:00
 場所 ホテル東日本盛岡
 主催 TOHOKU 高度 IT フォーラム、とうほく組込み産業クラスタ、
 株式会社インテリジェント・コスモス研究機構、
 財団法人いわて産業振興センター、岩手県、JASA 東北支部
 参加 (株)イーアールアイ、事務局
 内容 講演 1 「名古屋地区のビジネスについて」
 ~車載半導体ビジネスに携わって~
 萩原電機株式会社 顧問 佐藤博昭氏
 講演 2 「関西地区における組込産業の取組み」
 組込みシステム産業振興機構 事務局長 吉村和己氏
 ・ビジネスマッチング(個人面談)
 ・企業展示コーナー 参加：(株)イーアールアイ
- 組込み開発企業展示会
 日時 平成 25 年 3 月 19 日(火)
 場所 三菱電機株式会社伊丹地区内 三菱電機 健康保険組合
 伊丹総合保健体育館 BRI0 1 階
 主催 組込みシステム産業振興機構
 参加 (株)イーアールアイ、東杜シーテック(株)、
 (株)ルネサス北日本セミコンダクタ、JASA 東北支部(パネル展示)
 講演 基調講演として「先端技術と震災復興
 ~IIS(情報知能システム)研究センターの活動紹介~」
 東北大学 情報知能システム研究センター 特任教授館田あゆみ氏

(2) 支部長、副支部長 参加

- 電子情報通信学会東北支部 定例会、支部長会談
 日時 平成 24 年度 6 月 29 日(金) 16:30~18:00
 場所 トライポッドワークス株式会社
 参加 佐々木支部長、事務局
 内容 ・活動実績について
 ・今後の活動に関する議論

東京支部

1. 事業概要

東京支部は、組込み技術の普及啓発を事業の柱に、人材育成、会員間交流活性化を推進し、協会の核としての役割は十分に果たしたといえる。支部例会をはじめ諸事業も順調に推移し、今後の東京支部の事業活動発展の基礎を築いたといえる。特に支部活動の推進役として立ち上げた東京支部ワーキンググループが新しい企画の立案、実施に大いに貢献した。新たな試みとして実施した異業種セミナー＆交流会は若手技術者の活性化に大きな成果があった。

2. 会員の異動状況

期首支部会員数は、正会員 95、賛助会員 26、支部会員 3 社の合計 124 社、期中ににおいて正会員 6 社の入会があった一方、正会員 4 社の退会があり、期末合計は、正会員 101 社、賛助会員 27 社、支部会員 3 社の合計 131 社となった。

	正会員	会員	賛助会員	計
24 年 4 月	95	3	26	124
25 年 3 月	101	3	27	131

3. 事業実績

(1) 支部会議（成果発表会、講演会、懇親交流会） 参加者 約 60 名

日時：平成 24 年 6 月 20 日（水）13:30～18:30

会場：新宿野村ビル 4F 野村セミナールーム

支部会議 議題

- ・ 平成 24 年度事業計画と運営について
- ・ 支部事業推進 WG メンバーの募集について
- ・ 平成 24 年度東京支部研究開発助成金の公募について

成果発表 H23 年度 東京支部研究開発助成金

(1) 「アンドロイドアプリケーションのアクセス権限の動的禁止の研究」

（株）コスモ

(2) 「Android による周辺機器制御に関する調査研究」

（株）セントラル情報センター／（株）コア

(3) 「見守りシステム安否確認と Android 携帯端末との結合実験」

（株）システムクラフト

講演会 「待ち伏せマーケティング」 講師 増田 隆史 氏

福利厚生プランのご紹介 ～損害保険ジャパン～

懇親会 参加者 52 名

(2) 会議

➤ 常議員会

日時：平成 24 年 5 月 10 日（木）15:00～17:00

会場：東実年金会館 3 階会議室

議題：(1) 平成 23 年度事業報告・収支決算について【報告】

(2) 平成 24 年度事業計画・収支予算について【報告】

(3) 今後の東京支部組織運営について

- (4) 東京支部研究開発助成金の公募について
 - (5) その他
 - ・就職説明会/ET EXPO 2013(H24. 3. 21) 開催報告
 - ・見学会(H24. 3. 22) 報告
 - ・フレッシャーズセミナー(H24. 4. 4~5) 開催報告 他
- 東京支部事業推進ワーキンググループ
東京支部事業に関わる企画・運営等を行った。
- ✧ 第1回 平成24年10月4日 16:00~18:00 会場: JASA会議室
 - ✧ 第2回 平成24年10月24日 18:00~19:30 会場: embex会議室
 - ✧ 第3回 平成25年1月30日 17:30~19:00 会場: embex会議室
 - ✧ 第4回 平成25年2月26日 16:00~18:00 会場: JASA会議室
 - ✧ 第5回 平成25年3月14日 16:00~18:00 会場: embex会議室
- 支部例会等
- ✧ 支部例会 (講演会、懇親交流会)
日時: 平成24年8月23日 15:00~20:00
会場: 東実年金会館3階会議室 参加者 40名
内容: 講演「今、大学生に求められる社会人基礎力とは」
 (株)スキルメイト 代表取締役 宇野一彦 氏
 ・新入会員企業のご紹介(株)ユビキタス、(株)JVCケンウッド)
 - ✧ 支部例会 (講演会、忘年会)
日時: 平成24年12月7日 14:15~21:45
会場: 東京ミッドタウン カンファレンスルーム5+6
内容: 「実演!サイバー攻撃手法」
 (株)ブライセン 鎌田大介 氏/伊藤稔晃 氏
 「スマートフォン活用に向けたセキュリティの視点とBYOD」
 アルフシステムインテグレーション(株) / JSSEC 日本スマートフォンセキュリティフォーラム
 利用部会 利用ガイドラインWGリーダー 松下綾子 氏
 ・新入会員企業のご紹介
 (エポックサイエンス(株)、佐鳥電機(株)、(株)シーテック、
 フィット産業(株)、(株)CSAホールディングス
 ・東京都「自家発電設備導入費用助成事業」のご紹介
 「電気をためて賢くつかう、いざという時も安心
 ~リチウムイオン蓄電池の紹介~」
 (株)シー・シェルコーポレーション
 ・国立真美術館開館5周年企画「リヒテンシュタイン展」
 「バロック美術の殿堂 リヒテンシュタイン宮殿の名画を旅する」
 日本側監修者 成城大学 名誉教授 千足伸行 氏
 ・懇親交流会 参加者 58名
- その他 交流会
- ・異業種セミナー&交流会
「大谷由里子のスペシャルセミナー in 東京 (独身者限定)」
日時: 平成24年12月15日(土) 13:30~19:30
会場: 志縁塾セミナールーム「ふらっと」
参加者: 40名 (男性21名、女性19名)

中部支部

1. 内外産業調査

(1) 海外産業調査 (computex taipei 2012)

日時 平成 24 年 6 月 5 日 (火) ~9 日 (金) 3 泊 4 日
場所 台湾国 台北市
参加人数 7 名

(2) 国内産業調査

日時 平成 24 年 9 月 28 日 (金) ~29 日 (土) 1 泊 2 日
場所 広島市 (マツダミュージアム) 、岩国市
参加人数 10 名

2. セミナー

(1) 第 1 回組込みシステム技術セミナー —アジャイル講演会

日時 平成 24 年 4 月 119 日 (木) 13:20~15:00
場所 名古屋市工業研究所 第 2 会議室
参加人数 34 名 (会員 26 名、非会員 8 名)
講演題目 アジャイル開発による SaaS 型業界共通 XML/EDI の構築
講師 小島プレス工業株式会社 参事 兼子 邦彦 氏

(2) 第 2 回組込みシステム技術セミナー MBD 講演会

—モデルベース設計 (Matlab/simulink) の実際—
日時 平成 24 年 8 月 2 日 (木) 14:00~16:40
場所 ウインクあいち 特別会議室 1207
参加人数 52 名 (会員 35 名、非会員 17 名)

① 講演 1 モデルベース開発の状況

講師 アイシン精機 ソフトウェアセンタ長 河合 浩明 氏

② 講演 2 Simulink 生成コードの書式変更

講師 アイシン精機 相馬 秀茂 氏

③ 講演 3 MATLAB/simulink を使用したプラントモデル開発

講師 株式会社 ヴィツツ 熊谷 聰史 氏

(3) 第 3 回組込みシステム技術セミナー —ワイヤレス M2M 講演会

日時 平成 24 年 10 月 24 日 (水) 14:00 ~ 16:20
場所 ウインクあいち 特別会議室 1301
参加者数 50 名 (会員 33 名、非会員 17 名)
① 講演 1 ワイヤレス M2M の概要
② 講演 2 M2M の最新応用事例
講師 中部日本電気ソフトウェア株式会社
第四ソリューション事業部・主席事業主幹 加藤 憲昭 氏

(4) 第 4 回組込みシステム技術セミナー —派生開発 (XDDP) 講演会

日時 平成 25 年 3 月 1 日 (金) 13:30~16:30
場所 名古屋ダイヤビル 2 号館 241 号会議室
参加者数 70 名 (会員 40 名、非会員 30 名)

- ① 講演 1 無秩序が派生開発の混乱を招く
— X D D P で品質と生産性を同時に確保—
講師 派生開発推進協議会 代表
株式会社システムクリエイツ 代表取締役 清水 吉男 氏
- ② 講演 2 現場への X D D P の適用と効果
講師 株式会社 デンソー技術センター 古畠 慶次 氏

3. 技術研究会

(1) 第 1 回技術研究会 (アジャイル)

日時 平成 24 年 4 月 19 日 (木) 15:05~17:00
場所 名古屋市工業研究所 第 2 会議室
参加人数 13 名
内容 1 講演会講師を囲んでアジャイル開発の要点について質疑
2 研究会の進め方、座長、議事録の記録方法、その他
3 アジャイル開発技法の習得について
4 開発対象について
5 アジャイル開発の計画の立て方、見積もり方法
6 メーリングリストによる情報交換について

(2) 第 12 回技術研究会 (アジャイル)

日時 平成 25 年 3 月 13 日 (水) 15:30~17:30
場所 株式会社 ヴィツツ 会議室
参加人数 14 名
全 12 回開催

4. その他事業

(1) 第 1 回常議員会

日時 平成 24 年 4 月 25 日 (水) 15:00~17:00
場所 三幸電子株式会社 会議室
参加人数 9 名

(2) 支部会議・懇親会

日時 平成 24 年 5 月 25 日 (金) 17:00~20:30
場所 ザ サイプレス メルキュールホテル 名古屋
参加人数 支部会議 15 名 (含む中部経済産業局 杉山課長)
懇親会 33 名 K-WEST による軽音楽演奏

(3) 支部会員企業交流会 (忘年会)

日時 平成 24 年 12 月 6 日 (木) 17:40~20:00
場所 料亭 薦茂 参加人数 15 名

(4) 定例会

① 第 1 回定例会

日時 平成 24 年 8 月 2 日 (木) 17:00~19:00
場所 ウインクあいち 1207 会議室 参加人数 9 名

② 第 2 回定例会

日時 平成 24 年 12 月 6 日 (木) 16:30~17:30
場所 料亭 つたも 参加人数 15 名

③ 第3回定例会

日時 平成25年3月1日（金）17:00～18:30
場所 名古屋ダイヤビル 2号館 241号会議室 参加人数 9名

(5) 中堅管理職研修

① 第1回中間管理職研修（旧ミドル会）

日時 平成24年5月25日（金）18:00～20:30
場所 ザ サイプレス メルキュールホテル 名古屋
参加人数 10名

② 第2回中間管理職研修（旧ミドル会）

日時 平成24年6月29日（金）17:30～20:30
場所 ザ サイプレス メルキュールホテル 名古屋
参加人数 11名

③ 第3回中間管理職研修（旧ミドル会）

日時 平成24年8月29日（水）17:30～20:30
場所 ヒルトン 名古屋 王朝 参加人数 11名

④ 第4回中間管理職研修（旧ミドル会）

日時 平成24年11月8日（木）17:30～20:30
場所 ホテル サンルートプラザ 参加人数 11名

⑤ 第5回中間管理職研修（旧ミドル会）

日時 平成24年12月6日（木）17:30～20:30
場所 料亭 薦茂 参加人数 11名

北陸支部

1. 北陸支部会議の開催

- 4月16日（月）午後7時から 北陸支部会議を開催した。
平成23年度事業実施報告・決算報告、平成24年度の事業計画・収支予算案の審議及び上海視察研修についての報告を行った。
- 9月6日（木）午後7時から 北陸支部会議を開催した。
平成24年度事業進捗状況等報告、会員増強施策について検討を行った。

2. 福井県情報システム工業会理事会への参加

福井県情報システム工業会理事会へ参加し、以下の検討・要請・報告等を行った。

- 4月12日（木）平成24年度のJASA事務委託費の改定について報告した。
- 7月23日（月）福井県経済界サマースクールへの参加要請を行った。会活性化施策について検討した。
- 9月6日（木）
 - 福井県情報システム工業会が主催するセミナーへ参加した。
講師：富士通（中国）の中国ビジネス総責任者 箕田 好文氏。
(講師 箕田 好文 氏は、福井支部が推薦したもので、2月に実施した上海・蘇州海外視察研修時の研修先の中国ビジネス総責任者ある。)
演題：「中国ビジネスの最新状況」であった。
 - 北陸支部会員 5名参加
- 10月24日（水）
 - 福井県情報システム工業会が主催する「視察研修」に参加した。
 - ・視察研修機関：日本ユニシス株小浜データセンター
 - ・北陸支部会員 2名
- 11月12日（月）
 - ・北陸3県のIT業界と大学等で構成しているネットワーク（FITnet）について、その概要と役割及び解散理由等について説明した。
 - ・セミナーに参加した。
演題：「二次元移動方向に基づく空中手書き文字認識で広がる世界」
講師：福井工業大学の西田 好宏（当会からの推薦した）
 - ・北陸支部会員 3名参加
- 12月6日（木）
 - ・会員企業アンケート調査の項目とIT業界の問題点について検討した。
 - ・北陸支部会員 4名参加

3. 福井県IT産業団体連合会役員会への参加

6月25日（月）福井県IT産業団体連合会役員会へ参加し、次の検討を行った。

- ・ふくいITフォーラムの開催について
- ・産学官連携推進会議の開催について

4. 「ふくいITフォーラム2012」への後援

福井県IT産業団体連合会が主催する「ふくいITフォーラム2012」
(10月18日（木）、19日（金） 福井県産業会館1号館)に後援参加した。

入場者数は、17,008名（18日 8,105名、19日 8,903名）

近畿支部

＜総括＞

近畿支部としては、従来の委員会活動を中心に事業を推進し、当初の計画が実施出来た。

一般社団法人への移行に伴い、支部活動及び支部のあり方について、本部との意思疎通が必要となっているのも現実である。

支部活動の原点である会員企業にメリットが生かせるかが今後の課題であり、事業の遂行を通じ次年度の支部発展に繋げていきたい。

＜支部活動＞

1. 近畿支部会議（第26回支部会議開催）

平成24年4月25日（水）於：大阪産業創造館

- ・平成23年度事業報告及び収支決算報告
- ・平成24年度事業計画及び収支予算報告

出席者：25名 委任状提出：6名

2. 支部会議 5回開催

支部事業計画に基づいた具体案の検討を行った。

- ① 平成24年 5月23日（水）於：大阪産業創造館 20名出席
- ② 平成24年 7月25日（木）於：黄桜かっぱカントリー 14名出席
- ③ 平成24年 9月26日（水）於：大阪産業創造館 20名出席
- ④ 平成24年11月28日（水）於：大阪産業創造館 19名出席
- ⑤ 平成25年 2月27日（水）於：大阪産業創造館 19名出席

経済産業省近畿経済産業局との意見交換会

- ① 平成24年 5月23日（水）於：大阪産業創造館 20名出席
- ② 平成24年 9月26日（水）於：大阪産業創造館 20名出席
- ③ 平成24年11月28日（水）於：大阪産業創造館 19名出席
- ④ 平成25年 2月27日（水）於：大阪産業創造館 19名出席

3. 事業委員会

支部では3つの事業委員会を置き、各種活動を推進した。

- ① 総務・企画委員会にて（業界経営基盤の強化、推進支援）
- ② 技術・業務委員会にて（情報処理技術の高度化対応）
- ③ 広報・マーケット委員会にて（市場の開発と知名度向上）

＜委員会事業活動＞

1. 総務・企画委員会

(1) 総務交流フォーラム（総務諸問題研究部会）

各社管理部門担当者の人材育成、ネットワークの構築に取り組んだ。セミナー及び懇親会を3回開催。

- ① 平成24年 7月11日（水）於：大阪科学技術センター 12名出席
テーマ「新卒採用 選考のポイントと法的留意点」
講演 特定社会保険労務士 住岡 和博氏
- ② 平成24年11月29日（木）於：大阪会館 8名出席
テーマ「最近の人事労務問題の傾向と対策」

講演 弁護士法人飛翔法律事務所 弁護士 松村 直哉氏

③ 成25年 2月14日（木）於：AP大阪 9名出席

テーマ「企業のコンプライアンス対策」講演 弁護士法人飛翔法律事務所 弁護士 松村 直哉氏

(2) 新春IT振興フォーラム及び賀詞交歓会

平成25年 1月11日（金）於：大阪科学技術センター

・新春IT振興フォーラム

テーマ「ICTによる社会システムのデザイン」

講演 大阪大学 サイバーメディアセンター 教授 下條 真司氏

・賀詞交歓会

近畿情報システム産業協議会加入7団体主催で開催。

232名出席（うちJASA近畿支部：25名）

(3) 新入社員ビジネスマナー研修

関西電子情報産業協同組合(KEIS)との共催で開催。

平成24年 4月 9日～10日（2日間）於：大阪産業創造館

JASA近畿支部より2名参加

2. 技術・業務委員会

(1) 技術交流フォーラム（ITシステム研究会）

各社技術担当者が集まり、情報収集、意見交換を行った。

市場開発交流フォーラムと合同で1回開催。

(2) 会員月例会（近JASAフォーラム）

常議員会終了後、3回開催。

会員企業間の情報・意見交換を目的に各社企業紹介を主に行つた。

① 平成24年 5月23日（水）於：大阪産業創造館 21名出席
意見交換会

② 平成24年 9月26日（水）於：大阪産業創造館 20名出席
(株)シー・シェルコーポレーション大西教之氏、谷岡 伸昭氏ご担当

③ 平成25年 2月27日（水）於：大阪産業創造館 19名出席
(株)コア関西カンパニー 基盤・ビジネスソリューション部
田尾 敏郎部長、原田 直彦氏ご担当

(3) 技術セミナー

外部から講師を招き、会員企業の技術社員を対象にセミナーを4回行った。

① 平成24年 6月14日（木）、15日（金）於：インテックス大阪
ET West2012カンファレンス受講 18名出席

② 平成24年 8月22日（水）於：大阪産業創造館 19名出席
「組込みOS入門」 講師 (株)シー・シェルコーポレーション 井原 敬樹氏

③ 平成24年10月24日（水）於：大阪産業創造館 37名出席

「未来を描く4つの魔法～Social Change Starts with You～」
講師 パナソニック(株) 前川 直也氏、川合 裕司氏

プロジェクト・ファシリテーター協会 東 秀和氏

- ④ 平成25年 1月23日（水）於：大阪産業創造館 19名出席
「産業財産権制度の概要」
講師 特許庁 主任産業財産権専門官 高地 伸幸氏
「組込みシステムにおける特許」
講師 古谷国際特許事務所 所長・弁理士 古谷 栄男氏

3. 広報・マーケット委員会

- (1) 市場開発交流フォーラム（ビジネス開発研究部会）
技術交流フォーラムと合同で1回開催。
会員企業を訪問、各社が抱える問題を提起、議論を行った。
◆ 平成24年 7月12日（木）於：京都工業会館
(株)たけびしの「たけびしフェア」見学 13名参加
- (2) 国内・海外視察研修
「かごしまITフェスタ」の視察研修を実施した。
平成24年11月30日（金）～12月 2日（日）2泊3日
内容 かごしまITフェスタ視察
かごしまITフェスタ展示会場視察、(株)ソフト流通センター訪問、
出展社企業懇親会出席、鹿児島県商工労働水産部表敬訪問
参加者 11名

4. 行政や他団体との連携・協調推進

- 官公庁及び関係諸団体との連携を継続的に行い、会員企業に有益な業界関連情報を提供した。
- ・近畿経済産業局
 - ・近畿情報システム産業協議会(KISA)
 - ・関西電子情報産業協同組合(KEIS)
 - ・(一財)大阪科学技術センター(OSTEC)
 - ・(一財)関西情報センター(KIIS)
 - ・組込みシステム産業振興機構(ESIP)
 - ・(公財)関西文化学術研究都市推進機構(けいはんな)

5. ET West2012（組込み総合技術展 関西）にて展示会及びカンファレンスを開催。

平成24年 6月14日（木）～15日（金）於：インテックス大阪
出展社：135社・団体（160小間） 来場者：5, 551名（2日間）

6. ETロボコン2012 関西地区大会を開催

平成24年 9月16日（日）於：京都コンピュータ学院 京都駅前校
参加チーム：26チーム
(うち3チームがチャンピオンシップ大会に進出)

7. 経済産業省近畿経済産業局の活動

近畿経済産業局・情報政策課とは意見交換会を行っているが、5月23日（水）には「組込みシステム産業振興機構との連携の具体化」と、平成24年度「情報家電システム産業の強化事業」について説明していただき、その後フリーディスカッションを行った。

9月27日（水）には「平成25年度経済産業省予算」について及び「組込み

システム産業振興機構との連携」について、「産業実態調査」について、「今年度の組込み関連近畿局取り組みの進捗状況」についてお話をいただいた。

11月28日（水）には「来年度近畿経済産業局事業」についてご説明いただいた。

2月27日（水）には「来年度予算の概要」についてご説明いただき、その後質疑応答を行った。

九州支部

1. 第26回 九州支部会議

日時 平成24年4月18日(水) 16:30~17:45

場所 九州産業技術センター 3F

議題 1. 支部長挨拶

2. 平成23年度決算報告

3. 平成24年度事業計画および収支予算

4. その他

出席者数 計7名（常議員6名、事務局1名）

2. ES-Kyushu 総会&IT融合セミナー（主催：ES-Kyushu）

日時 平成24年7月13日(金) 14:00~

場所 福岡システムLSI 総合開発センター

次第 1. 平成23年度事業報告

2. 平成24年度事業計画

3. 名称変更について 『九州地域組込みシステム協議会』より
『九州IT融合システム協議会』に変更

出席 西支部長、大北副支部長、松尾常議員、事務局

■「IT融合システム」セミナー 時間：15:00~17:50

演題①「ITSの取り組みに関する最新動向」

濱田俊一 氏（国土交通省国土技術政策総合研究所）

演題②「交通情報の活用及び基盤整備に関する最新動向」

今井龍一 氏（国土交通省国土技術政策総合研究所）

演題③「農業のIT化と東北地域の活動」

菊池 務 氏（東北大学特任教授）

トライポッドワークス株式会社代表取締役常務）

演題④「農業と車両と組込みシステム：欧州における事例紹介」

中西恒夫 氏（九州大学准教授）

■交流会 時間：18:00~19:30

3. 7月度支部会議

日時 平成24年7月25日(金) 14:00~14:30 出席6名

場所 九州産業技術センター

議題 1) 報告事項Z

・ETロボコン2012について

・ES-Kyushu 総会について

2) その他

4. JASA 九州支部セミナー『モバイルコンピューティングの新潮流』

日時：平成 24 年 7 月 25 日（水）15:00 ~ 17:20（受付 14:40~）

場所：九州産業技術センター 3F 参加人数：54 名

プログラム：

◆支部長挨拶

◆講演(1) モバイル通信の現状・動向と KDDI の取り組み

【内容】

* モバイル通信の現状・動向と KDDI の取り組み

* モバイル通信方式の特徴と活用方法

* モバイル通信デバイスや応用システムの可能性

講演者：(株)KDDI 研究所 アクセスネットワーク部門長 竹内 和則 氏

◆講演(2) クラウド連携で革新をもたらす M2M 技術の導入

【内容】

* 今、なぜ M2M か？ * 進化するクラウドサービス

* M2M 最新応用事例 * M2M のビジネスモデルと活用のポイント

* M2M における各種通信方式

* 組込みデバイスや応用システムの可能性 * M2M のグローバル展開

講演者：モバイルコンピューティング 推進コンソーシアム (MCPC)

モバイル M2M-WG 技術 SWG 主査 入鹿山 剛堂 氏

◆講演(3) MCPC の活動概要

【内容】

* モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) の紹介

* MCPC のモバイルシステム技術者育成活動について

* (株) IT 企画の活動紹介

講演者：株式会社 IT 企画 代表取締役社長 才所 敏明 氏

◆懇親会 17:40 ~ 19:00]

5. ET ロボコン 2012 九州地区大会 第一回試走会（運営主体：NPO 法人 QUEST）

日時 平成 24 年 7 月 23 日（土） 11:00~12:00

場所 九州産業大学 出席 西支部長、松尾事務局

6. ET ロボコン 2012 九州地区大会 第二回試走会（運営主体：NPO 法人 QUEST）

日時 平成 24 年 8 月 20 日（土） 11:00~12:00

場所 九州産業大学 出席 西支部長、松尾理事

7. ET ロボコン 2012 九州地区大会（運営主体：NPO 法人 QUEST）

日時 平成 24 年 9 月 1 日（土） ~9 月 2 日（日） 10:00~16:30

場所 九州産業大学 出席 西支部長、大北副支部長、松尾事務局

8. 10 月度支部会議

日時 平成 24 年 10 月 11 日（木） 16:30~18:00

場所 九州産業技術センター 出席 8 名

議題 1. 報告事項

・ JASA 九州支部協業セミナー(7/25 実施)について

・ ET ロボコン 2012 九州地区大会(10/1-2 実施)について

- ・中間決算報告
2. 検討事項
- ・JASA 九州支部協業セミナー(H25/01/25 予定)について
⇒ 本部より門田専務理事、母里課長代理を含めて検討
3. その他
9. JaSST '12 Kyushu ソフトウェアテストシンポジウム 2012 九州【協賛】
- 「テストの試走を現場視点で実現する！」
- 日時：平成 24 年 11 月 1 日（木）
12:50 ~ 18:30 シンポジウム / 19:00 ~ 20:30 情報交換会
- 場所：かごしま県民交流センター 参加人数：54 名
- プログラム：
- ◆基調講演
「アジャイル・Ruby・クラウド（ARC）を活用したビジネスにおけるテストの実践」 講演者：倉貫 義人 氏（株式会社ソニックガーデン）
 - ◆招待講演
「世界最初の”モバイル”テストエンジニアがみた’00年代とこれから」
講演者：松木 晋祐 氏（ACCESS）
10. 1 月度支部会議
- 日時 平成 25 年 1 月 8 日（火） 16:00~17:30
- 場所 九州産業技術センター 出席 8 名
- 議題
- 1. 報告事項
 - ・ET ロボコン 2012 チャンピオンシップ大会について
 - 2. 検討事項
 - ・来年度予算について
⇒ 平成 24 年度予算をベースとして、年 2 回のセミナー開催を本部協業推進委員会と連携して年 1 回の開催とする。また、企業見学交流会を予算計上した。
 - ・支部協業セミナーについて
⇒ 平成 25 年 2 月 15 日開催予定のセミナーについて理事及び門田専務理事、母里課長代理を交えて検討した。セミナーの名称や集客方法、今後の対応について協議した。
 - 3. その他
 - ・任期満了による次期支部長、副支部長の選出については、引き続き西支部長、大北副支部長がその任を務めることとなった。
11. JASA 交流セミナー博多 「M2M はビジネスチャンスだ！！」
- 日時 平成 25 年 2 月 15 日（金） 14:20 ~ セミナー、17:30 ~ 交流会
- 場所 JR 博多シティ 10 階 参加人数：50 名
- プログラム：
- ② 「M2M ビジネスの新潮流」
講演者：佐野勝大氏（株）ユビキタス 取締役営業マーケティング本部長
 - ③ 「M2M 技術と標準化の動向」
講演者：北上眞二氏（三菱電機ビルテクノサービス株式会社）
 - ④ 「全てが繋がる時代のセキュリティ～繋がるモノ、繋がってしまうモノ～」
講演者：中野学氏（IPA 情報セキュリティ技術ラボ主任）

事業報告の附属明細書

平成 24 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。